

■ 梱包明細

● パネルセット

製品記号	梱包明細
TKJTP07■	前面パネル(上) L=1109①, 前面パネル(下) L=1064①, 側面パネル(上) L=295 RL各①, 側面パネル(下) L=253 RL各①
TKJTP12■	前面パネル(上) L=1564①, 前面パネル(下) L=1519①, 側面パネル(上) L=295 RL各①, 側面パネル(下) L=253 RL各①
TKJTP17■	前面パネル(上) L=2018①, 前面パネル(下) L=1973①, 側面パネル(上) L=295 RL各①, 側面パネル(下) L=253 RL各①
TKJTP26■	前面パネル(上) L=2927①, 前面パネル(下) L=2882①, 側面パネル(上) L=295 RL各①, 側面パネル(下) L=253 RL各① コーナキップCY-1756②
TKJTP08■	前面パネル(上) L=1200①, 前面パネル(下) L=1155①, 側面パネル(上) L=295 RL各①, 側面パネル(下) L=253 RL各① ティキキップCY-1482②
TKJTP13■	前面パネル(上) L=1700①, 前面パネル(下) L=1655①, 側面パネル(上) L=295 RL各①, 側面パネル(下) L=253 RL各①
TKJTP18■	前面パネル(上) L=2200①, 前面パネル(下) L=2155①, 側面パネル(上) L=295 RL各①, 側面パネル(下) L=253 RL各①
TKJTP28■	前面パネル(上) L=3200①, 前面パネル(下) L=3155①, 側面パネル(上) L=295 RL各①, 側面パネル(下) L=253 RL各①

● 鋳物フレーム

製品記号	梱包明細
TKJTST	側面補強材 RL各①
TKJTSR	中央補強材 ①

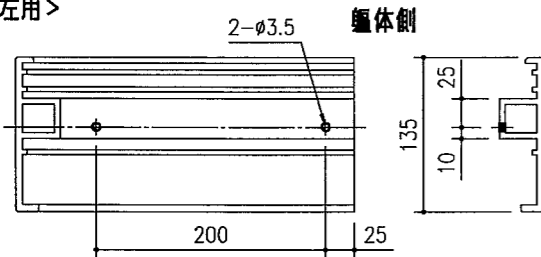
● 床材

製品記号	梱包明細
TKJTY07	前面アングルL=1027上下各①, 側面アングル(上) L=254 RL①, 下柵L=1017④ 六角ボルトM6x60②, M6x40③, スプリングワッシャー-M6④, 平ワッシャー④ ナットM6④, テクスビスφ4x16⑧, トラスビスφ4x10⑩, ワッシャー-M6⑥ コーチスクリューφ6x70⑥, トラスビスφ4x30⑧, 皿テクスφ4x10④
TKJTY08	前面アングルL=1118上下各①, 側面アングル(上) L=254 RL①, 下柵L=1108④ 六角ボルトM6x60③, M6x40③, スプリングワッシャー-M6⑥, 平ワッシャー⑥ ナットM6⑥, テクスビスφ4x16⑧, トラスビスφ4x10⑩, ワッシャー-M6⑧ コーチスクリューφ6x70⑧, トラスビスφ4x30⑩, 皿テクスφ4x10④
TKJTY12	前面アングルL=1482上下各①, 側面アングル(上) L=254 RL①, 下柵L=1472④ 六角ボルトM6x60③, M6x40③, スプリングワッシャー-M6⑥, 平ワッシャー⑥ ナットM6⑥, テクスビスφ4x16⑧, トラスビスφ4x10⑩, ワッシャー-M6⑧ コーチスクリューφ6x70⑧, トラスビスφ4x30⑩, 皿テクスφ4x10④
TKJTY13	前面アングルL=1618上下各①, 側面アングル(上) L=254 RL①, 下柵L=1608④ 六角ボルトM6x60③, M6x40③, スプリングワッシャー-M6⑥, 平ワッシャー⑥ ナットM6⑥, テクスビスφ4x16⑧, トラスビスφ4x10⑩, ワッシャー-M6⑧ コーチスクリューφ6x70⑧, トラスビスφ4x30⑩, 皿テクスφ4x10④
TKJTY17	前面アングルL=1936上下各①, 側面アングル(上) L=254 RL①, 下柵L=1926④ 六角ボルトM6x60④, M6x40④, スプリングワッシャー-M6⑧, 平ワッシャー⑧ ナットM6⑧, テクスビスφ4x16⑧, トラスビスφ4x10⑩, ワッシャー-M6⑩ コーチスクリューφ6x70⑩, トラスビスφ4x30⑩, 皿テクスφ4x10④
TKJTY18	前面アングルL=2118上下各①, 側面アングル(上) L=254 RL①, 下柵L=2108④ 六角ボルトM6x60④, M6x40④, スプリングワッシャー-M6⑧, 平ワッシャー⑧ ナットM6⑧, テクスビスφ4x16⑧, トラスビスφ4x10⑩, ワッシャー-M6⑩ コーチスクリューφ6x70⑩, トラスビスφ4x30⑩, 皿テクスφ4x10④
TKJTY26	前面アングルL=2845上下各①, 側面アングル(上) L=254 RL①, 下柵L=2835④ 六角ボルトM6x60④, M6x40④, スプリングワッシャー-M6⑧, 平ワッシャー⑧ ナットM6⑧, テクスビスφ4x16⑧, トラスビスφ4x10⑩, ワッシャー-M6⑩ コーチスクリューφ6x70⑩, トラスビスφ4x30⑩, 皿テクスφ4x10④
TKJTY28	前面アングルL=3118上下各①, 側面アングル(上) L=254 RL①, 下柵L=3108④ 六角ボルトM6x60④, M6x40④, スプリングワッシャー-M6⑧, 平ワッシャー⑧ ナットM6⑧, テクスビスφ4x16⑧, トラスビスφ4x10⑩, ワッシャー-M6⑩ コーチスクリューφ6x70⑩, トラスビスφ4x30⑩, 皿テクスφ4x10④

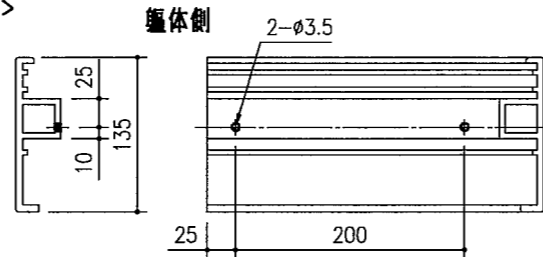
■ 加工図

● 側面パネル(上用)

<左用>

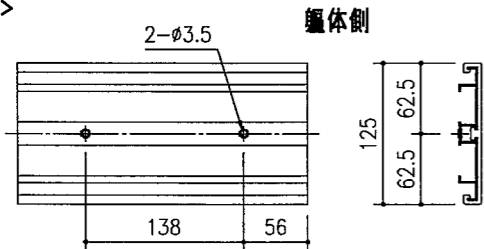


<右用>

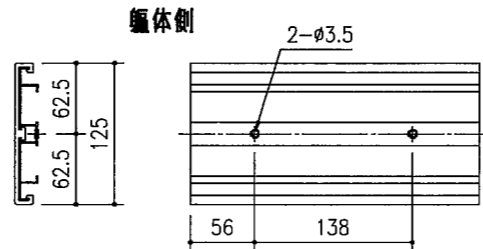


● 側面パネル(下用)

<左用>



<右用>



■ 組立手順

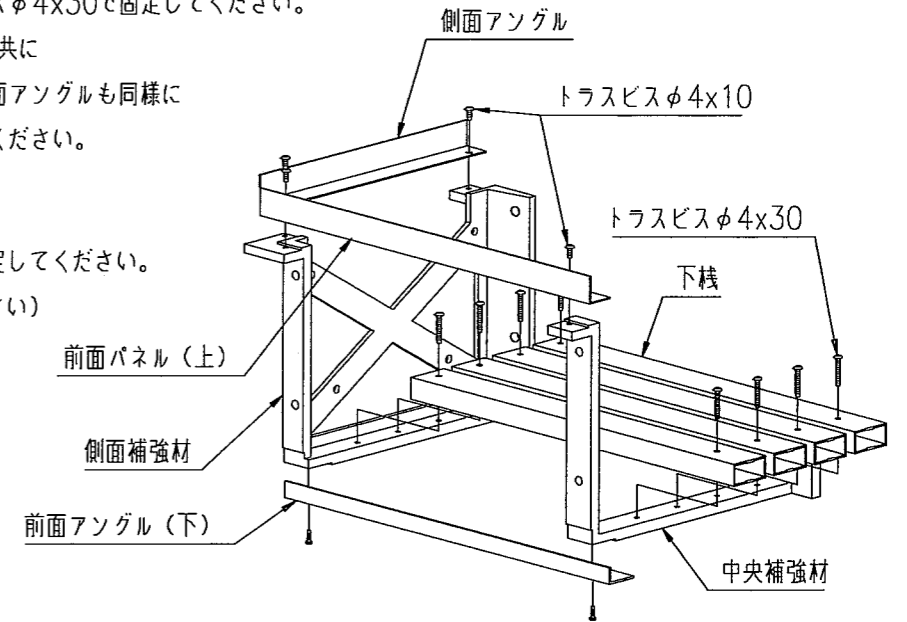
※ 完成品の状態では躯体に取り付けできません。ご注意ください。

1. 本体組立

- 側面補強材 中央補強材 に下柵をトラスビスφ4x30で固定してください。
- 側面補強材 中央補強材へ、前面アングル上下共にトラスビスφ4x10で固定してください。側面アングルも同様に側面補強材にトラスビスφ4x10で固定してください。

⚠ 注意

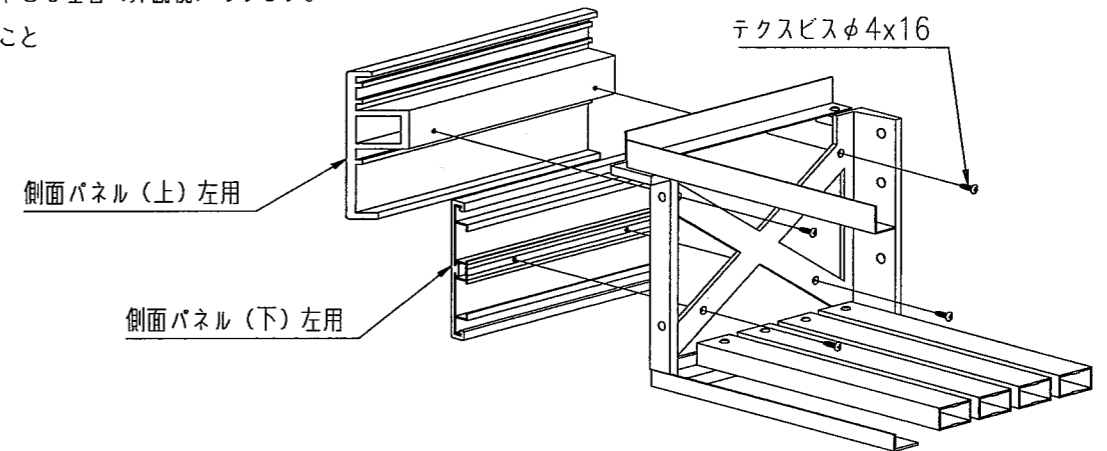
- 下柵を取付ける場合は手廻しドライバーで固定してください。(インパクトドライバーで固定しないでください)



2. 側面パネルの組立

- 側面パネル下用を側面補強材にテクスビスφ4x13で固定してください。
- 側面パネル上用を側面補強材にテクスビスφ4x13で固定してください。側面パネルには上下とも左右(外観視)あります。

※ 加工図 参照のこと

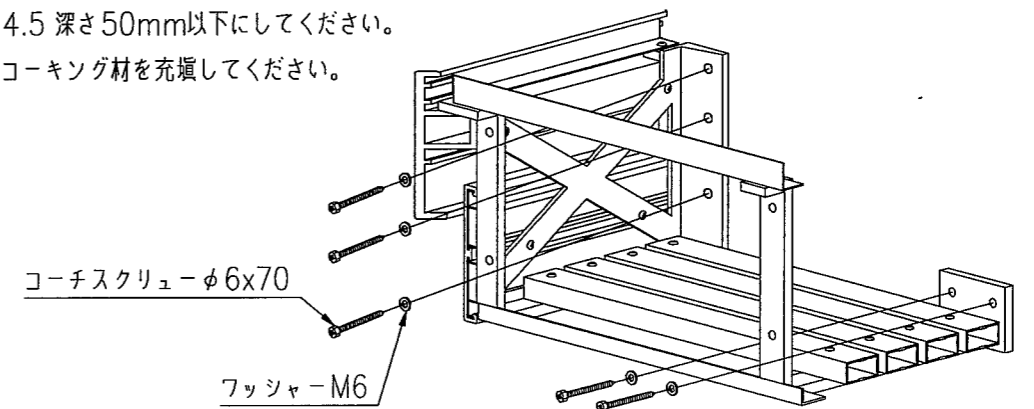


2. 躯体への取付

- 花台の取付位置を決定して、コーチスクリューφ6x70で固定してください。

⚠ 注意

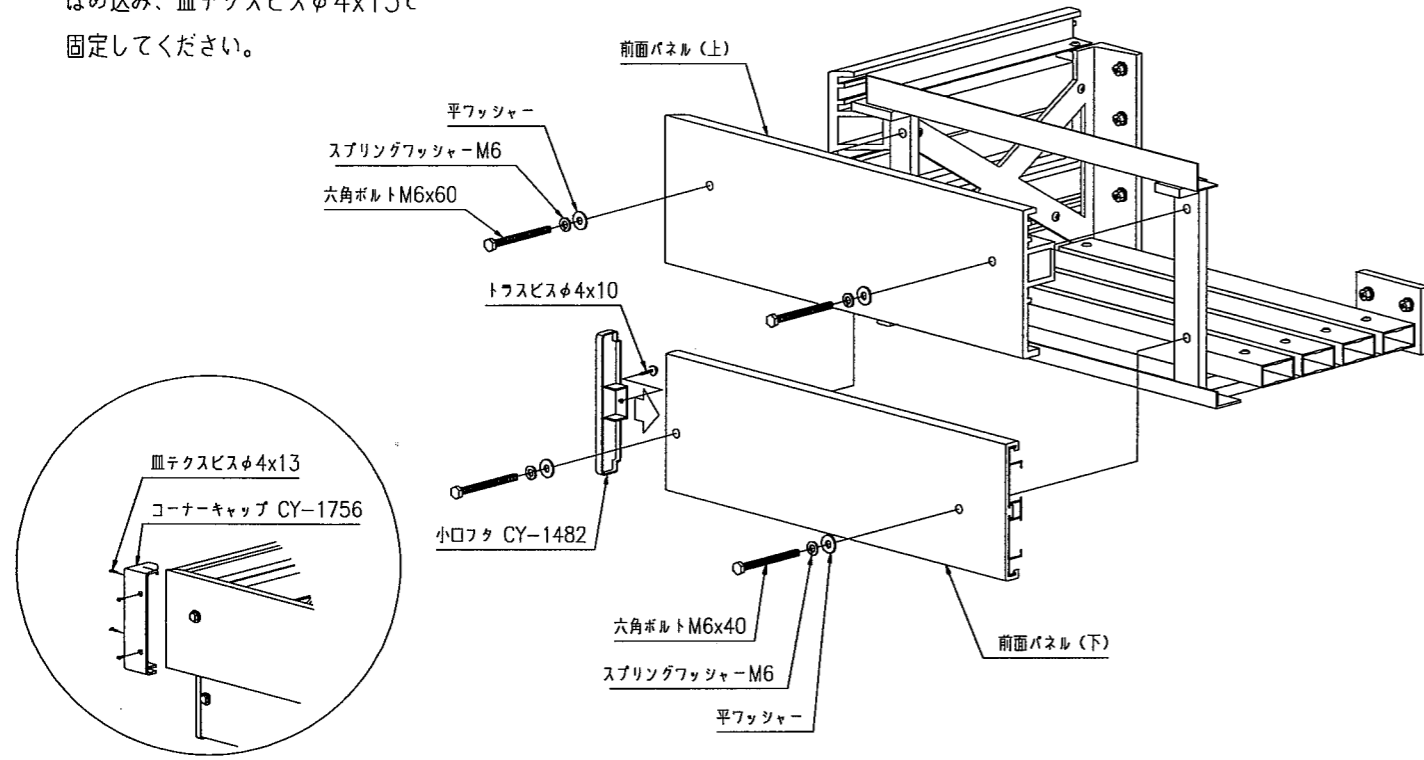
- コーチスクリューの下孔はφ4.5 深さ50mm以下にしてください。
- コーチスクリューの下孔にはコーキング材を充填してください。



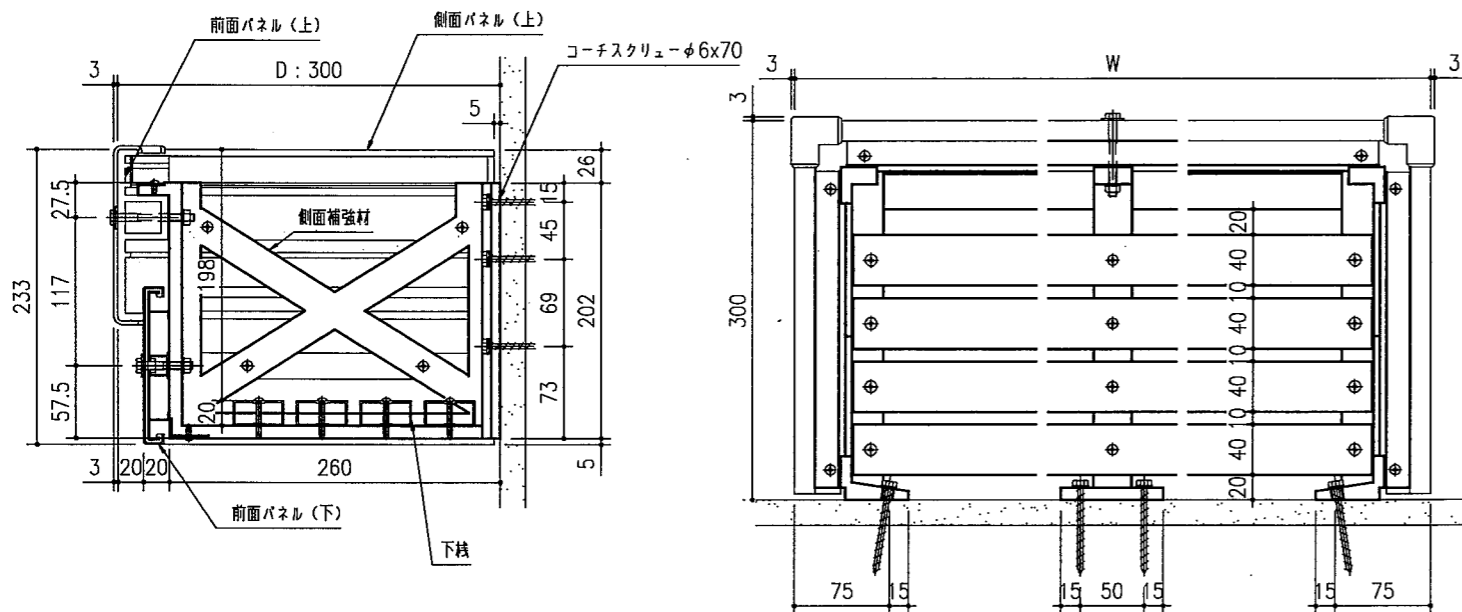
組立手順

4. 前面パネルの取付

- 前面パネル下用に小口キャップをトラスビスφ4x10で固定してください。
- 前面パネル下用に六角ボルトM6x40とM6ナットで固定してください。
- 前面パネル下用を取り付け後、前面パネル上用を六角ボルトM6x60とM6ナットで固定してください。
- 前面パネルを取り付け終わりましたら、コーナーキャップをはめ込み、皿テクスビスφ4x13で固定してください。



納まり図 (S=1/6)

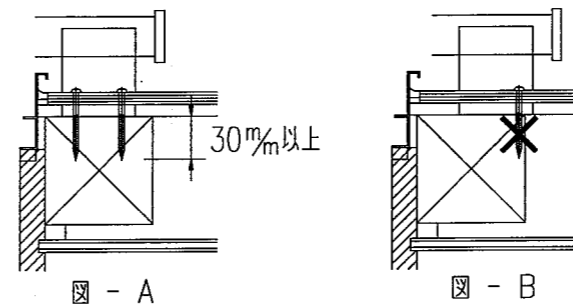


禁止事項ならびにご注意

- ⚠ アルミサッシの枠には、直付けすることはできませんので躯体付けで施工してください。
- ⚠ 木造住宅用アルミ製花台は、そのままではRC・鉄骨造ALC外壁には施工できません。
- ⚠ 花台の切り詰め以外の改造は絶対にしないでください。

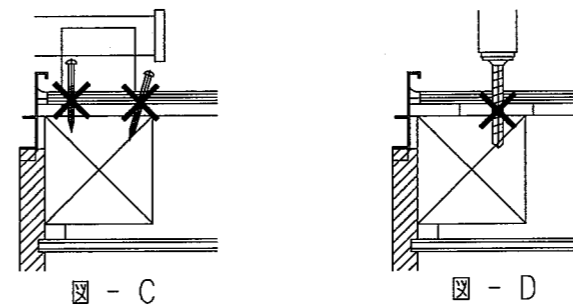
花台の組み立て・取り付け上の留意点 (参照図については現物とは異なります)

- 建築図面等から柱・間柱・窓台などの位置・寸法・外装材・下地材の寸法を確認してください。
- 付属の部品・ねじ、または指定された部品・ねじ類を必ず使用してください。
- 組立て説明書にしたがって組み立ててください。特にねじ類は確実に締め付けてください。
- 補強材 は柱位置に確実に取付けてください。
- 取付けの木ねじの柱へのねじ込み長さは、30mm以上になるようにしてください。(図-A 参照)
- 木ねじの取付け位置は、柱の端部にならないよう、また外装材の端部にならないようにしてください。(図-B 参照)

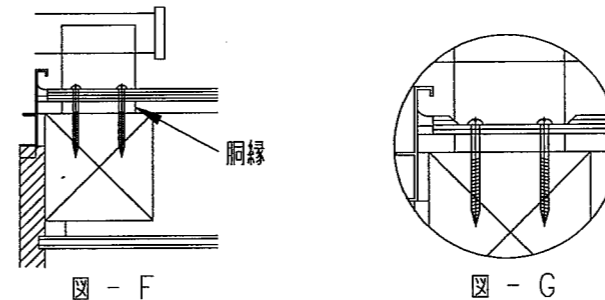


外装材や下地材が厚い場合には、付属の木ねじでは、ねじ込み長さが不足する場合があります。このような場合には、メーカーのカatalog・説明書を確認するか、メーカーに問い合わせてください。

- ねじ止めは確実に締め付けてください。(図-C 参照)
- 外壁に下穴を明ける場合、柱まで穴を明けないようにしてください。ねじの支持力が激減します。(図-D 参照)
- 外装材に明けた穴には 補強材 をねじ止める際、コーキング材を充填して漏水を防止してください。(図-E 参照)



- サイディング通気工法の場合、花台の取付け位置に胴縁があることを確認してください。(図-F 参照)
- 発砲材を充填または貼り合わせた金属サイディングの場合には、その上から取付けしないでください。(図-G 参照) サイディングが くぼんで意匠を損なったり、窓手すりのガタツキの原因になります。



あらかじめ胴縁下地材を入れておくように建築施工業者と相談しておいてください。

- 施工後、各部の締め忘れや緩みがないか、よく確認してください。
- 窓内側から、笠木を強くゆすり、ガタツキや緩みがないかよく確認してください。
- 検査される人は安全に十分ご注意ください。